

連絡船

北海道天売高等学校
2022年1月31日発行



学校通信 第4号

新たな年を迎えて

校長 駒井 信和



令和3年度は7名の新入生を迎え全校生徒13名となり、ここ数十年の中で最も大人数となりました。学校はこれまで以上に活気に溢れていくことを期待したところでしたが、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響のため、行事を始め様々な取組が制限されました。

そのような中においても、生徒・教員が知恵を出し工夫をしながら前向きに取り組んできました。特に天高祭は実施できなくても生徒会の伝統を継承するために「よさこい」「太鼓」を3年生が中心となって練習し後輩たちに伝えていきました。天売にしかできない学びである「うに祭り」「島民大運動会」等の島での行事が中止になりとても残念ではありましたが、島の皆様からの生徒への愛情は生徒にとっての掛け替えのない学びであり財産となっております。

今年度も残り二ヶ月となりますが、3年生は卒業に向けて有終の美を飾ることができるようにラストスパートをかけて頑張っています。2年生は生徒会を引っ張り最高学年への準備が整ってきています。1年生は島にも学校にも慣れ後輩を迎えることができようとして成長しています。一日一日を大切にしながら今年度の残りをしっかりと取り組み、生徒全員主人公である本校の13名がそれぞれの目標に向かい邁進していきます。

本校生徒は島民の皆様の愛情なくして成長はありません。島民の皆様に深く感謝すると共にこれからも天高生は天売島で育つ学校として、ご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます

チャレンジする心

教頭 山口 智文



生徒のみなさん、物事を始める前から、どうせこんなことやっても・・・失敗したらどうしよう・・・やって失敗したら周りに恥をかき・・・とか、向き合う前から諦めてたことはありませんか？これらの共通することは周りの目を気にしていることです。物事から思いとどまって結局何もしなかった、また出来なかったという経験は誰にでもあると思います。しかし、こんなことをやってみたいと思う気持ちは誰にでもあることだと思います。チャレンジには失敗はつきものですが、チャレンジしな

いことが失敗ではないでしょうか？それはチャレンジを通じどれだけのことを学ぶことが出来たのかが大切なことだからです。その人にとって成功したか失敗したかではなくどれだけ成長できたのかが大切だと思いますよ。

「水産クラブ全道大会へ」

天売高校 教諭 高橋 信光

今年度の大会は函館近郊の北斗市にて11月9・10日（火・水）の2日間の日程で開催され、本校のほか厚岸翔洋高校、小樽水産高校、函館水産高校の4校から計11グループが参加しました。本校生徒は、3年生の4人でした。悪天候による時化のため早めに天売島より旅立ち、羽幌で2日滞留の後7日に函館へ、到着。着いたときにはすでに疲れていましたが、若さで発表を頑張りました。2日目の本番、本校は発表順番が真ん中8番目で、内容は天売島の牡蠣を利用できないか研究するというので、全体で3位の評価を獲得することが出来ました。天売島の牡蠣のことについて教えて頂いたり、様々なアドバイスを頂いたりこれも島民のみなさんのご協力のお陰です。この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



「天売学」

天売高校 教諭 磯辺 史生

天売島の自然について考察し、今後の天売島の姿について考えることを学習目標に天売学の授業を進めています。10月16日(土)、30日(土)と2回にわたり天売島在住の自然写真家の寺沢孝毅様から「天売島の自然を伝える」をテーマに講話をしていただきました。1回目はドローンを使用した空からの天売島や海鳥の動画をもとに天売島の豊かな自然について、2回目はマイクロプラスチック問題を

含む海の環境問題を主としたお話でした。映し出される映像がとても美しく、生徒はテレビに引き込まれるように観ていました。生徒は改めて天売島の美しさを認識するとともに環境問題について考える時間となりました。



「体協バドミントン大会」

天売高校 教諭 鈴木 洋 亮

11月27日の体協バドミントン大会では、高校生2チームと、教員1チームの合計3チームが出場しました。その中でも、開閉会式の司会を始め、受付や試合中の進行、審判など高校生が主体となって大会運営を行う様子が見られました。成績は大会前の授業や部活の練習の成果を見事に発揮し、高校生チームがそれぞれ1位、2位と好成績を収めることができました。1月のミニバレーボール大会は残念ながら中止となりましたが、来年度も生徒の積極的な運営と参加に期待したいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策のため、体協事業も中止や規模縮小が続いておりましたが、島民の皆様のご協力のおかげで無事にバドミントン大会を開催することができました。ご配慮いただき、ありがとうございました。



「R3を振り返って」

3学年 担任 板橋 佑 樹

2月1日から自宅学習期間に入る3年生。残る行事も予餞会と卒業式だけとなりました。私も含め初めての島での生活に右も左も分からず戸惑いながらも島の多くの方々を支えられてきた3年間だと感じます。今年度は昨年度と同様に新型コロナウイルスの影響で多くの行事が規模縮小又は中止となってしまいましたが、そのような状況下でも生徒たちは少しでも自分たちの成長した姿を島の方々に見せようと頑張っていました。残り少ない島での生活を全力で楽しみ成長してくれることを期待しています。

「健康第一 安全第一」

2学年 担任 田中 可能

今年度の2年生は2人しかいない中で、行事や学習発表表に大変ながらも一生懸命取り組みました。来年度は天売高校をまとめる立場として、より一層の活躍を期待しています。また、2人が充実した日々を送っているのは天売島の方々の協力のおかげです。いつもありがとうございます。最後の1年、怪我なく健康的な生活を送れるように、担任として体調管理に気を配りつつ支えていきたいと思えます。今後ともご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



「1年生へのメッセージ」

1学年 担任 岡本 岳之

私が天売島に来てもう少しで2年経とうとしています。ここでの暮らしを通して改めて自分はいろいろな人に支えられてようやく生きているのだと実感しています。どんなに格好つけても人は1人では生きていけません。だからこそ1年生の皆さんには「人に応援される人、人を応援できる人になりなさい」と口を酸っぱくして言ってきました。後2ヶ月で皆さんは先輩になります。誰かに寄り掛かるのではなく、誰かを支える、誰かと支え合える力を身につけていきましょう。

